

船舶事故等調査報告書

平成27年11月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2015広第63号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成27年5月26日 18時15分ごろ
発生場所	広島県江田島市絵ノ島南東岸沖 安芸絵ノ島灯台から真方位168°350m付近 (概位 北緯34°17.26′ 東経132°21.78′)
事故等調査の経過	平成27年5月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート ネプチューンⅡ、18トン
船舶番号、船舶所有者等	243-23801 広島、有限会社日本医用システムサービス
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	両舷プロペラ翼に曲損、右舷推進器軸及び両舷舵に曲損等
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、知人（以下「同乗者」という。）2人を乗せ、船首約0.6m、船尾約0.9mの喫水で、試運転のため、手動操舵で絵ノ島南東岸沖を東進中、平成27年5月26日18時15分ごろ、同島南東岸沖の浅所に乗り揚げた。</p> <p>船長は、海上保安庁に本事故を通報し、マリーナに救助を要請した。</p> <p>船長は巡視艇で、同乗者はマリーナの救助艇でそれぞれ同マリーナに帰った。</p> <p>本船は、27日朝、自然離礁し、マリーナまでえい航された。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の中央期</p>
その他の事項	<p>海図W113（岩国港及付近）によれば、‘絵ノ島南東端から南方約150mにかけて浅所’（以下「本件浅所」という。）が拡張している。</p> <p>本船に搭載していたGPSプロッターには、本件浅所が表示されていた。</p> <p>船長は、本件浅所の拡張状況を知らなかったが、絵ノ島南東岸から約50m離して航行すれば安全に航行できるものと思い、GPSプロッターを見ないで、目視で航行していた。</p> <p>船長及び同乗者2人は、いずれも救命胴衣を着用していなかった。</p>
分析	
乗組員等の関与	あり

<p>船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p>	<p>なし なし</p> <p>本船は、絵ノ島南東岸沖を東進中、船長が、同島南東岸から約50m離して航行すれば、安全に航行できるものと思い、GPSプロッターを活用して本件浅所の拡張状況を確認せずに航行を続けたことから、本件浅所に向けて航行していることに気付かず、本件浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、絵ノ島南東岸沖を東進中、船長が、同島南東岸から約50m離して航行すれば、安全に航行できるものと思い、本件浅所の拡張状況を確認せずに航行を続けたため、本件浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海図やGPSプロッターを適切に活用して、水路状況を確認しておくこと。